

予 算 要 求 資 料

令和5年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

事業名【新】広域防災センター消防用設備更新事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2838)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 4,216 千円 (前年度予算額：0 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	4,216	0	0	0	0	0	0	0	4,216
決定額	4,216	0	0	0	0	0	0	3,100	1,116

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

広域防災センターは「岐阜県県有建物長寿命化計画」の対象施設となっており、同計画では自動火災報知設備及び非常用放送設備の換装サイクルを20年としている。しかしながら、広域防災センターでは昭和57年の建築以来一度もこれらを換装したことが無く、現に非常放送用のマイクが故障しているが、機材の年式が古いため修理もできない。なお、これに対してはやむを得ず代替手段により違法状態を回避しているところだが、機材が老朽化しており今後別の故障がいつ発生してもおかしくない状況。

(2) 事業内容

機材の信頼性確保のため、自動火災報知設備及び非常用放送設備を換装するもの。

(3) 県負担・補助率の考え方

県有施設のため県負担。

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
修繕料	4,216	自動火災報知設備及び非常用放送設備の換装
合計	4,216	

決定額の考え方

財源については、一般事業債を充当します。

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・消防法第17条、消防法施行令第7条第3項、第23条、第24条
- ・岐阜県県有建物長寿命化計画 個別施設計画

(2) 国・他県の状況

—

(3) 後年度の財政負担

換装は単年度で終了し、後年度負担はない。

(4) 事業主体及びその妥当性

県有施設であるため県が主体となることが妥当。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

令和5年度のできるだけ早い時期に、自動火災報知設備及び非常用放送設備を換装し、火災発生時の対応を迅速に行えるようにする必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (S57)	R3年度 実績	R4年度 目標	R5年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

老朽化・故障した機材を換装するものであり、指標設定はなじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和3年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p>
令和4年度	
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	
令和6年度当初予算にて追加	
令和5年度	
指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %	

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・ 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	現に一部故障しており、老朽化のためさらに故障が進行する可能性がある。
・ 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない	
(評価)	
・ 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方向性)

・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由 や期待する効果 など	

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	
補助事業者 (団体)	(理由)
補助事業の概要	(目的) (内容)
補助率・補助単価等	定額・定率・その他 (例: 人件費相当額) (内容) (理由)
補助効果	
終期の設定	終期〇〇年度 (理由)

(事業目標)

・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

補助金交付実績 (単位: 千円)	H30年度	R元年度	R2年度

(これまでの取組内容と成果)

令和2年度	<ul style="list-style-type: none">取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和3年度	令和5年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %
令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：____ 実績：____ 達成率：____ %

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none">事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価)	
<ul style="list-style-type: none">事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価)	

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none">事業が直面する課題や改善が必要な事項
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none">継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
